

令和 8 年度 第 1 回豊田市商業振興委員会

【日 時】 令和 8 年 5 月 20 日（水）午後 2 時から

【場 所】 豊田市役所南庁舎 南 5 1 会議室

【出席者】 <委員>

脇田 弘久〔愛知学院大学商学部 教授〕
元岡 征志〔シー・プロジェクト 代表中小企業診断士／社会福祉士〕
森川 信輔〔豊田信用金庫 経営支援部長〕
松本 義宏〔名古屋学院大学経営学部 講師〕
奥泉 友紀〔豊田まちづくり株式会社 取締役執行役員〕
新田 都子〔高岡地域消費者グループ 代表〕
鈴木 千加〔足助商工会 女性部 部長〕
杉山 裕貴〔市民公募〕

(計 8 名)

<事務局>

成瀬 剛史〔豊田市産業部副部長〕
川合 晃司〔豊田市産業部産業振興課課長〕
稲垣 量平〔豊田市産業部産業振興課担当長〕
谷口 元〔豊田市産業部産業振興課担当長〕
棚野 翔〔豊田市産業部産業振興課主査〕
江口 愛可吏〔豊田市産業部産業振興課主査〕

【傍聴者】 なし

【次第】

- 1 委嘱状交付
- 2 委員長の互選
- 3 委員長あいさつ
- 4 副委員長の指名
- 5 副委員長あいさつ
- 6 委員紹介・あいさつ
- 7 事務局紹介
- 8 開会
- 9 産業部副部長あいさつ

- 1 0 本日の審議スケジュール等について
- 1 1 令和7年度諮問事項の進捗・結果報告

【問答要旨】

議事

- (1) 稲武商工会 商店街活性化計画の変更について

委員長

議題（1）について、委員の皆様からご質問をいただきたい。

委員

加盟店を14店舗から21店舗へ増やすとのことだが、他の店舗が加盟していない理由は何か。

稲武商工会

旧システムでは加盟するための負担金がハードルとなり、新規加入が難しかった。今回のシステム更新は、全店舗に同じ条件で加入を呼びかけられる絶好の機会であり、事業拡大を図りたいと考えている。

委員

現状の仕組みで、会員情報の収集はできるか。

稲武商工会

工夫はしたが、情報の収集は難しかった。今回のクラウドを使用したシステムは、お客様に属性等の情報を入力いただくため、いずれはLINEなどを活用し、お買得情報などを発信していく仕組みも組み込みたい。

委員

「どんぐりの里稲武」が加盟していなかった理由は何か。

稲武商工会

実行するためには、「どんぐりの里稲武」の従業員に体制を整えてもらう必要があり、その調整に難航していた。

委員

「ゲンキー」は加盟予定か。

稲武商工会

会社の基本方針として加盟しないとのこと。

委員

クラウド型に更新することで、スマホで簡単に操作できる仕組みになるのか。また、従業員の負担は軽減するのか。

稲武商工会

更新後は、基本二次元コードを読み込み、自動的にポイントが付与されていく仕組みとなる。従業員の負担も減り、顧客情報をクラウドで管理できるようになり、店からの情報発信ができるようになる。

委員

会員数の目標値が 3,000 人とのことだが、規模が妥当か。エリア人口はどのくらいか。

稲武商工会

稲武地区の人口は約 1,900 人だが、周辺地域を含めると本来の商圈は約 5,000 人規模である。「ゲンキー」の出店により広域からの来訪者も増えており、地元だけでは成長しないものの、立地と通行量を活かして会員数 3,000 人を目指したい。現在の年間ポイント 85 万を 160 万へ倍増させる予定。

委員

「どんぐりの里稲武」や「ゲンキー」も加入し、相乗効果となる仕掛けになることを期待する。

委員長

本件について、委員会としては意義なしとする。